

# **PZ-3** (three)

## 中期経営3カ年計画(2005年度～2007年度) 進捗状況

2006年11月1日

 **日本ゼオン株式会社**

代表取締役社長 古河 直純

# PZ-3のポイント

## コンセプト

PZ-3

2005年度 ~ 2007年度

**飛躍の実現  
企業価値向上**

- ・積極的投資
- ・生産革新
- ・CSR重視
- ・研究開発強化

## 基本方針

- ◆『企業の社会的責任（CSR）』を再認識し、社会から信頼され、社員も誇りに思える会社づくりを「スピード」「対話」「社会貢献」をもって追求する。
- ◆経営戦略と研究戦略を一致させ、ひとのまねをしない、ひとがまねをできない世界一の独創的技術で新事業を創造し、継続的に発展・拡大させる。

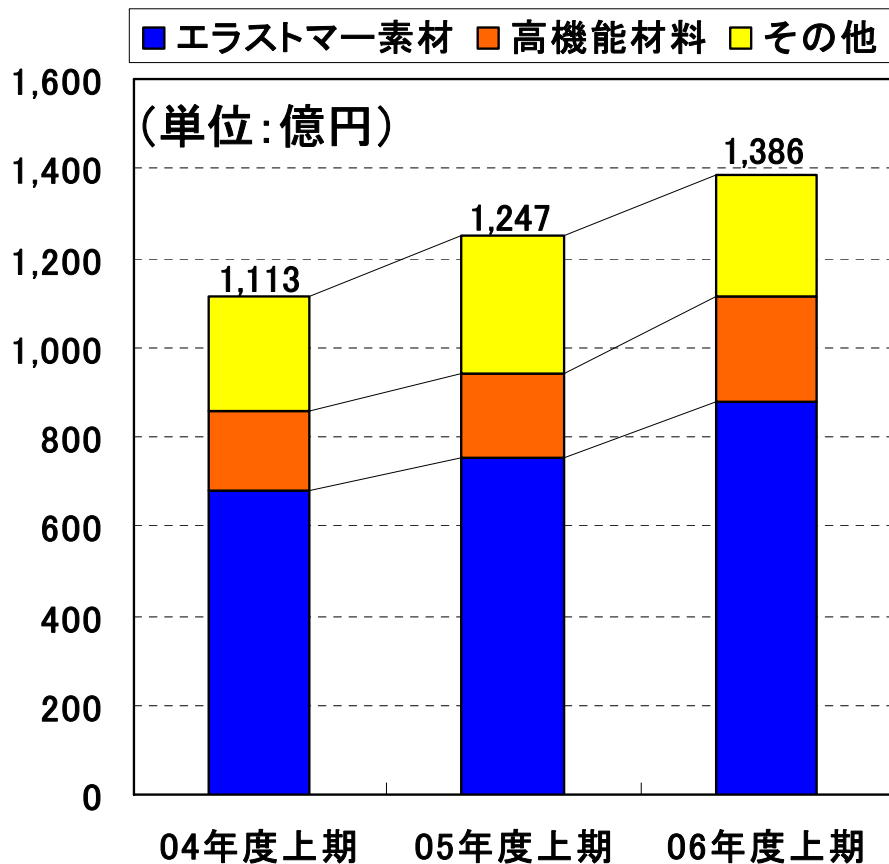
# PZ-3 連結業績目標の達成状況

	2004年度 実績	2005年度 PZ-3 計画	2005年度 実績	2006年度 上期実績	2007年度 PZ-3 計画
売上高	2,314億円	2,415億円	2,631億円	1,386億円	2,700億円
営業利益	193億円	230億円	268億円	137億円	330億円
高機能材料事業 営業利益構成比	45%	49%	38%	37%	55%
ROE	10.2%	13.0%	17.6%	※ 16.1%	16%

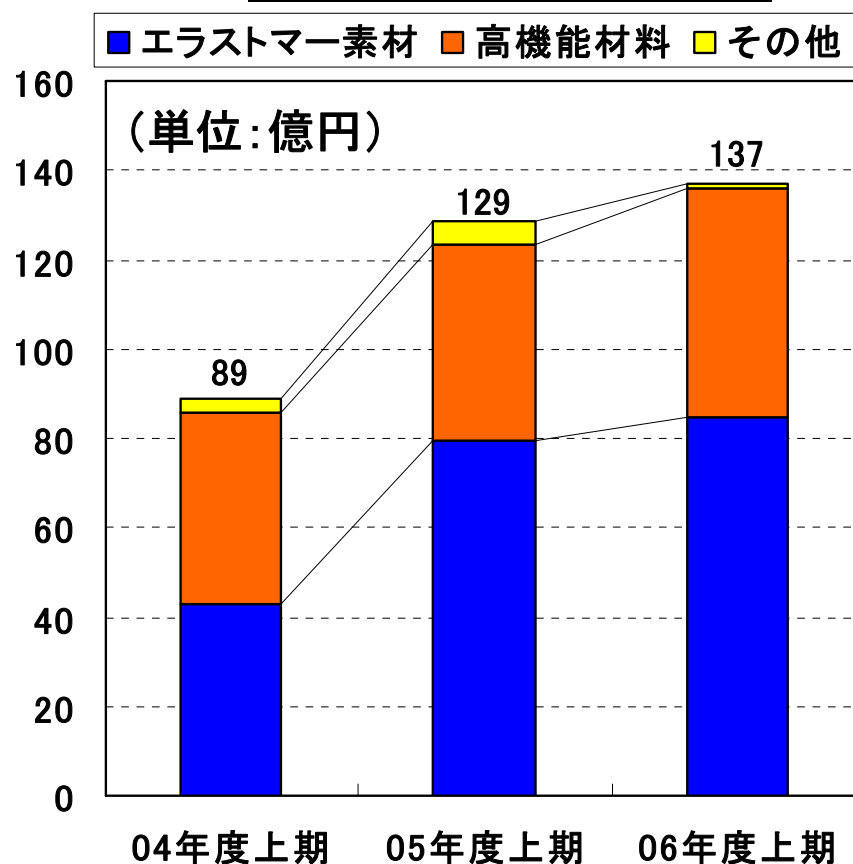
※ROEの2006年度上期実績は、上期当期利益を2倍して年度ベースに換算

# 上期連結業績推移

## 連結売上高推移



## 連結営業利益推移



### ● 連結経常利益

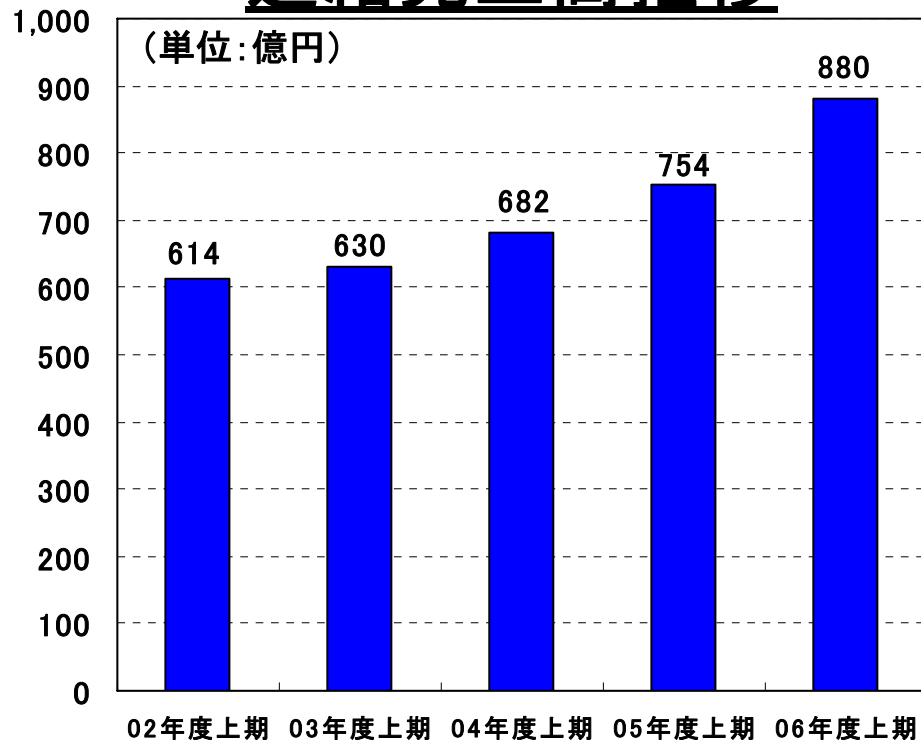
上期4年連続の増益、さらに4年連続の過去最高益更新

### ● 連結営業利益

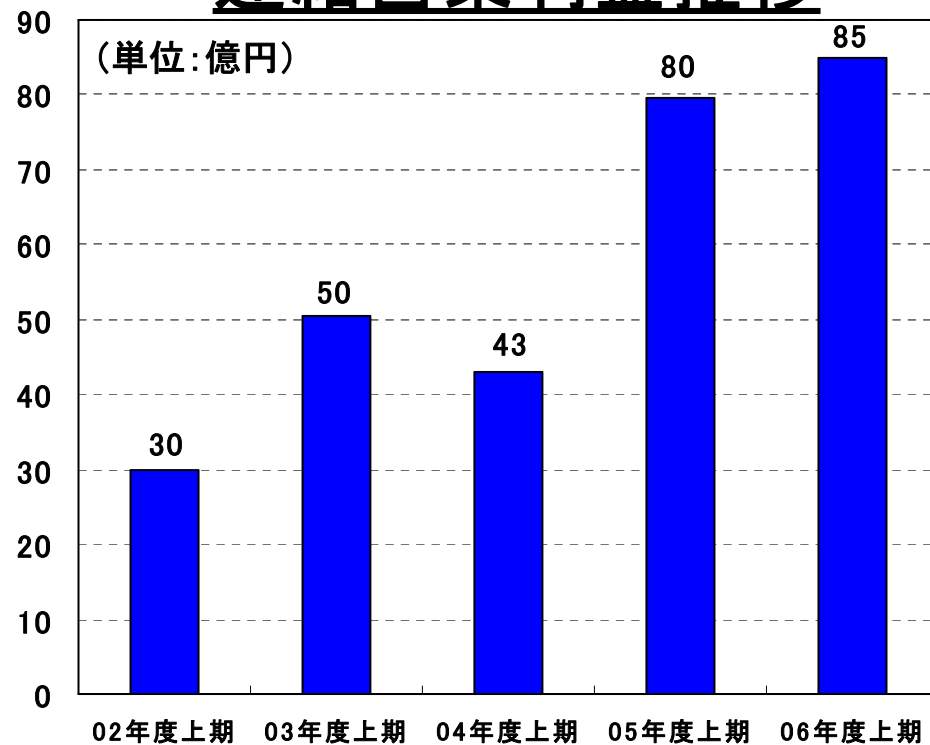
上期4年連続の増益、さらに4年連続の過去最高益更新

# エラストマー素材事業 セグメント

## 連結売上高推移



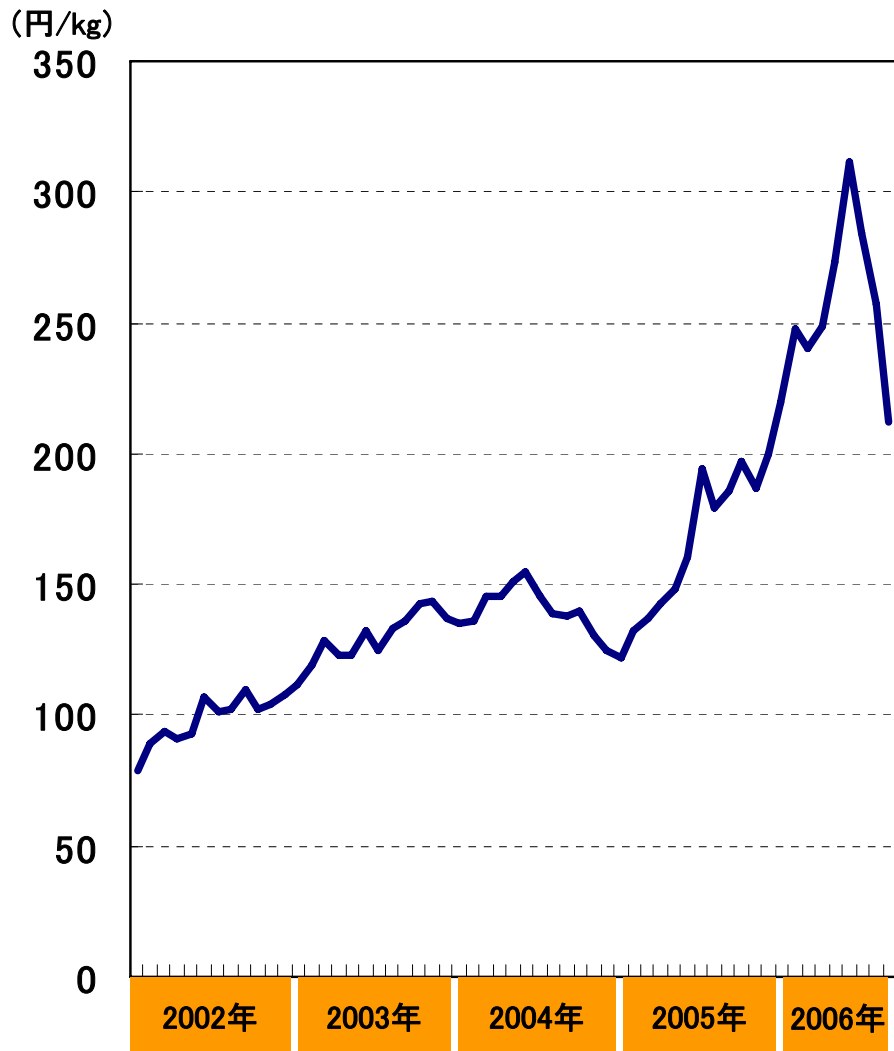
## 連結営業利益推移



### 【2006年度上期総括】

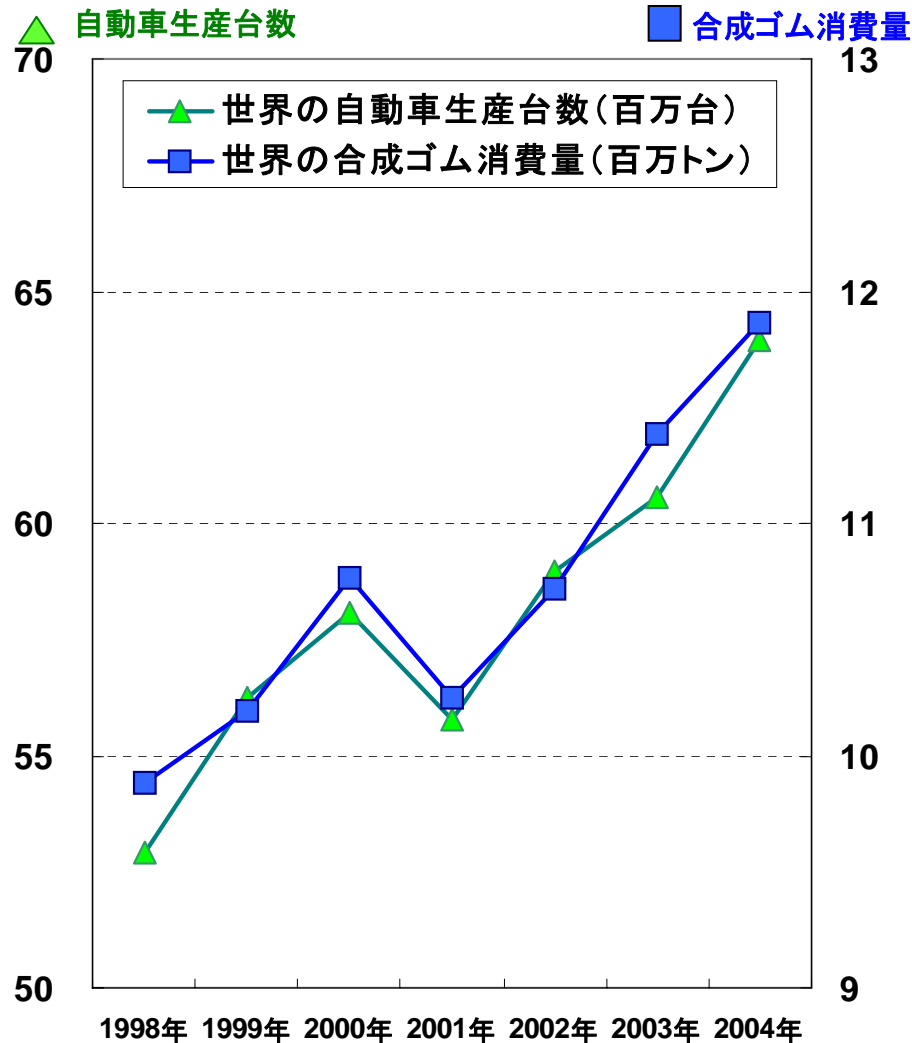
- ・自動車、タイヤ等主要用途の需要は堅調に推移
- ・為替円安の進行
- ・海外市場における採算重視の販売政策を実践
- ・コストダウン活動を推進

### 天然ゴム市場価格推移



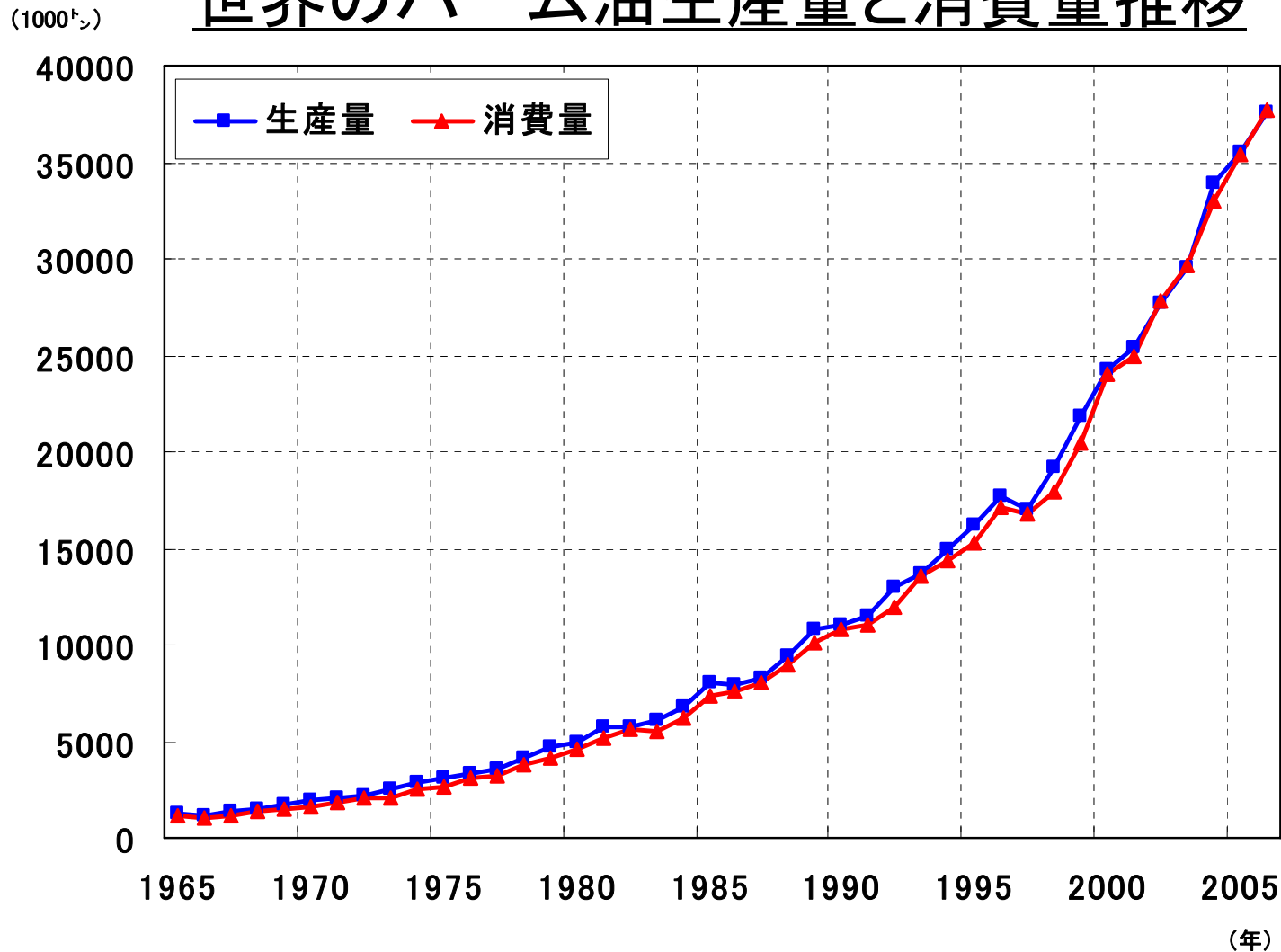
東京工業品取引所の相場価格から当社算出

### 世界の合成ゴム消費と自動車生産



合成ゴム消費量: International Rubber Study Group より  
自動車生産台数: 日本自動車工業会統計資料より

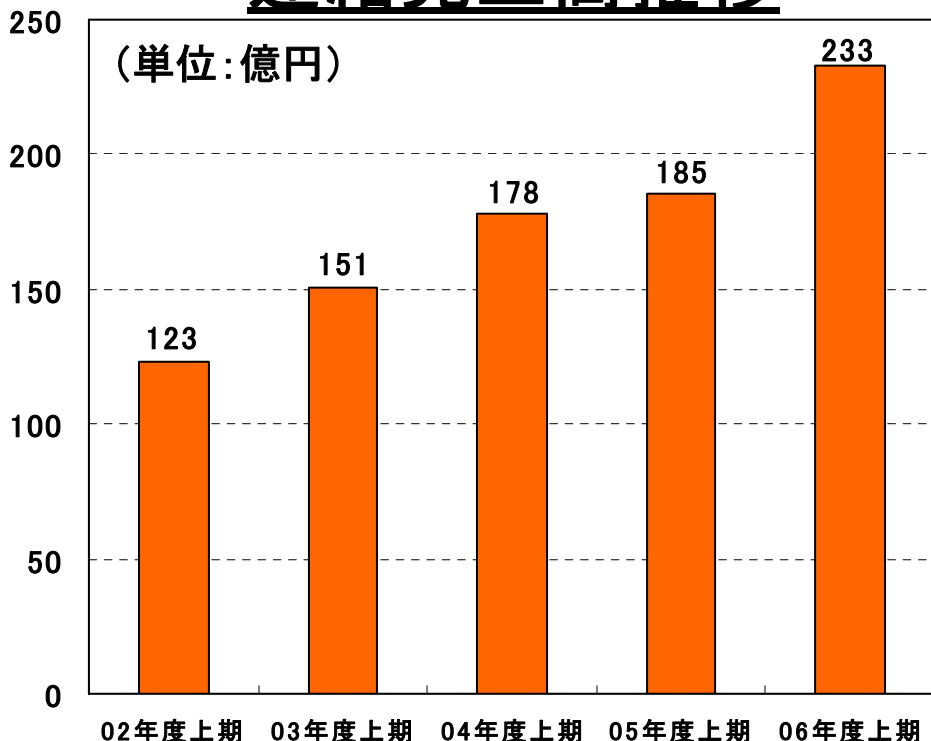
## 世界のパーム油生産量と消費量推移



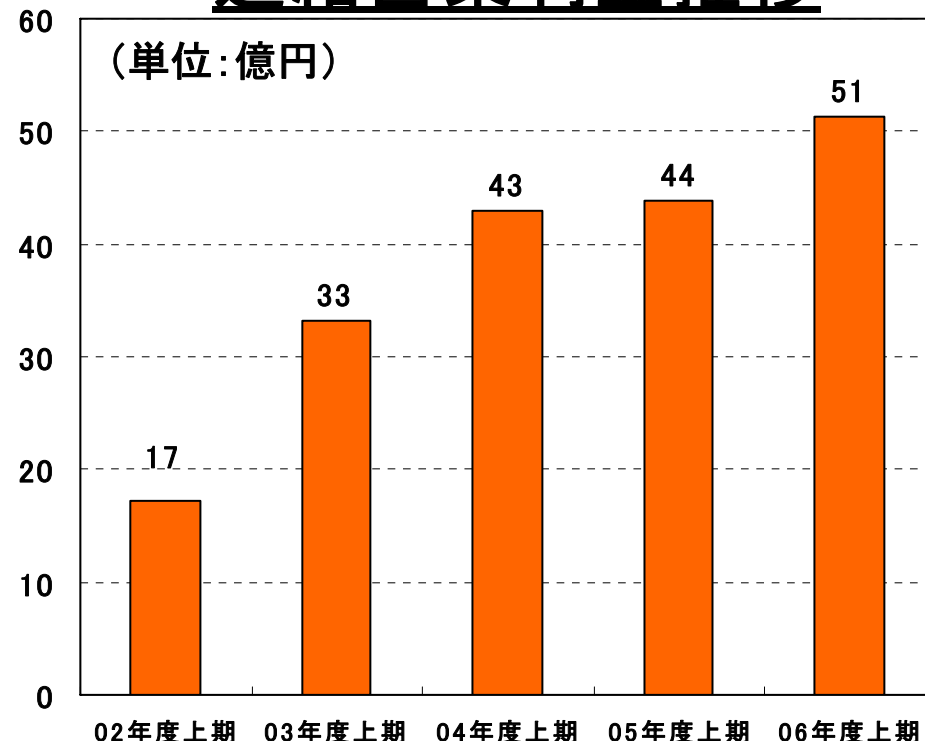


# 高機能材料事業 セグメント

## 連結売上高推移



## 連結営業利益推移



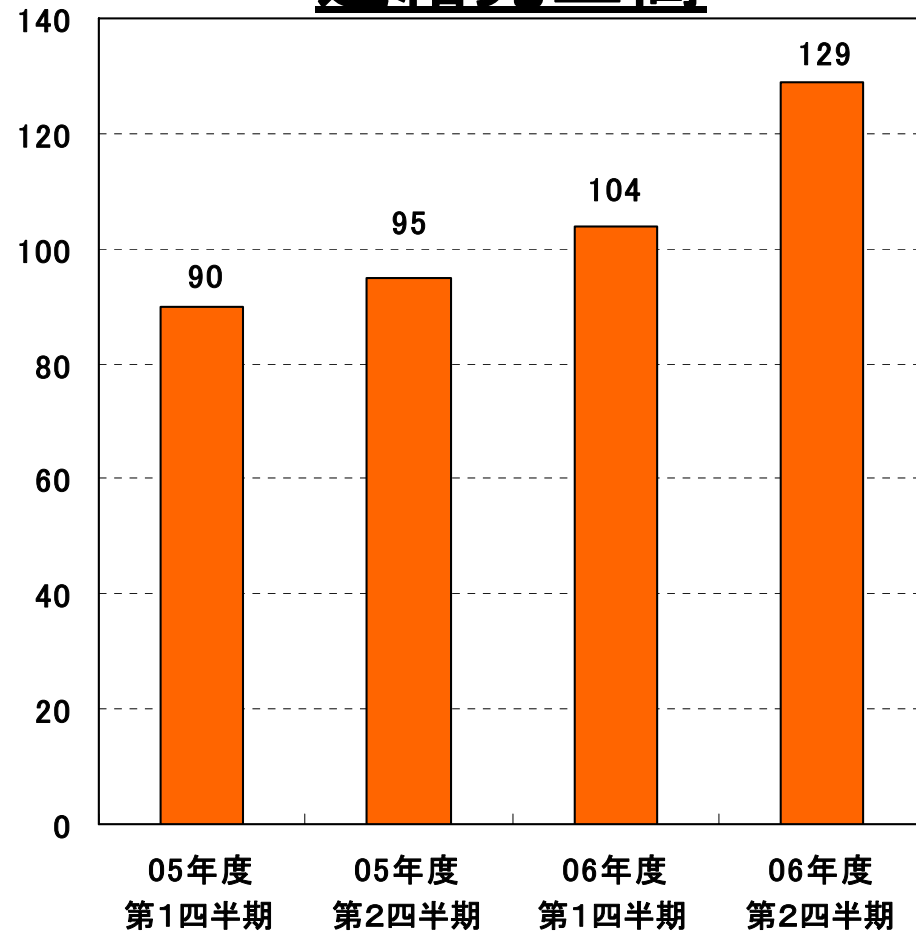
### 【2006年度上期総括】

- ・液晶パネル用光学フィルム(ゼオノアフィルム)は、上期前半は低調に推移。上期後半には新ゼオノアフィルム(延伸フィルム)が拡大。拡散板も拡大。
- ・光学レンズ用途、医療用途向け樹脂(ゼオネックス)、エッチング用ガス(ゼオローラ)、電池材料、ジャスミン系合成香料は順調に拡大。

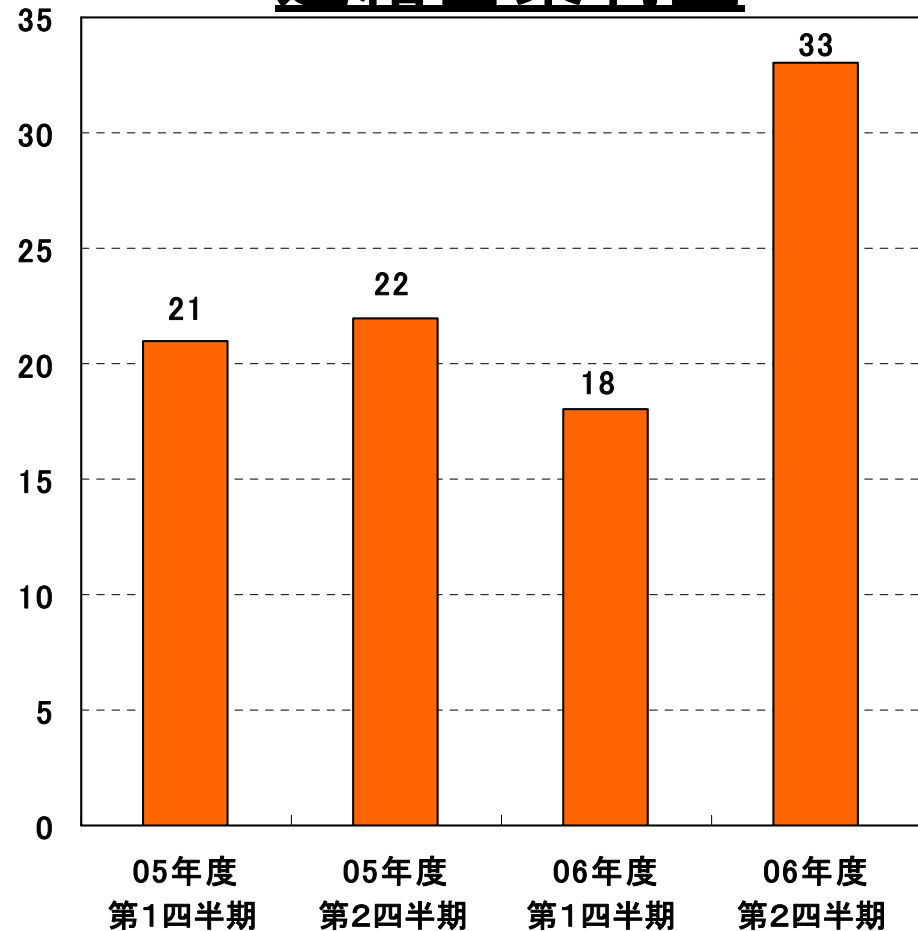
# 四半期別連結業績推移

高機能材料

## 連結売上高



## 連結営業利益



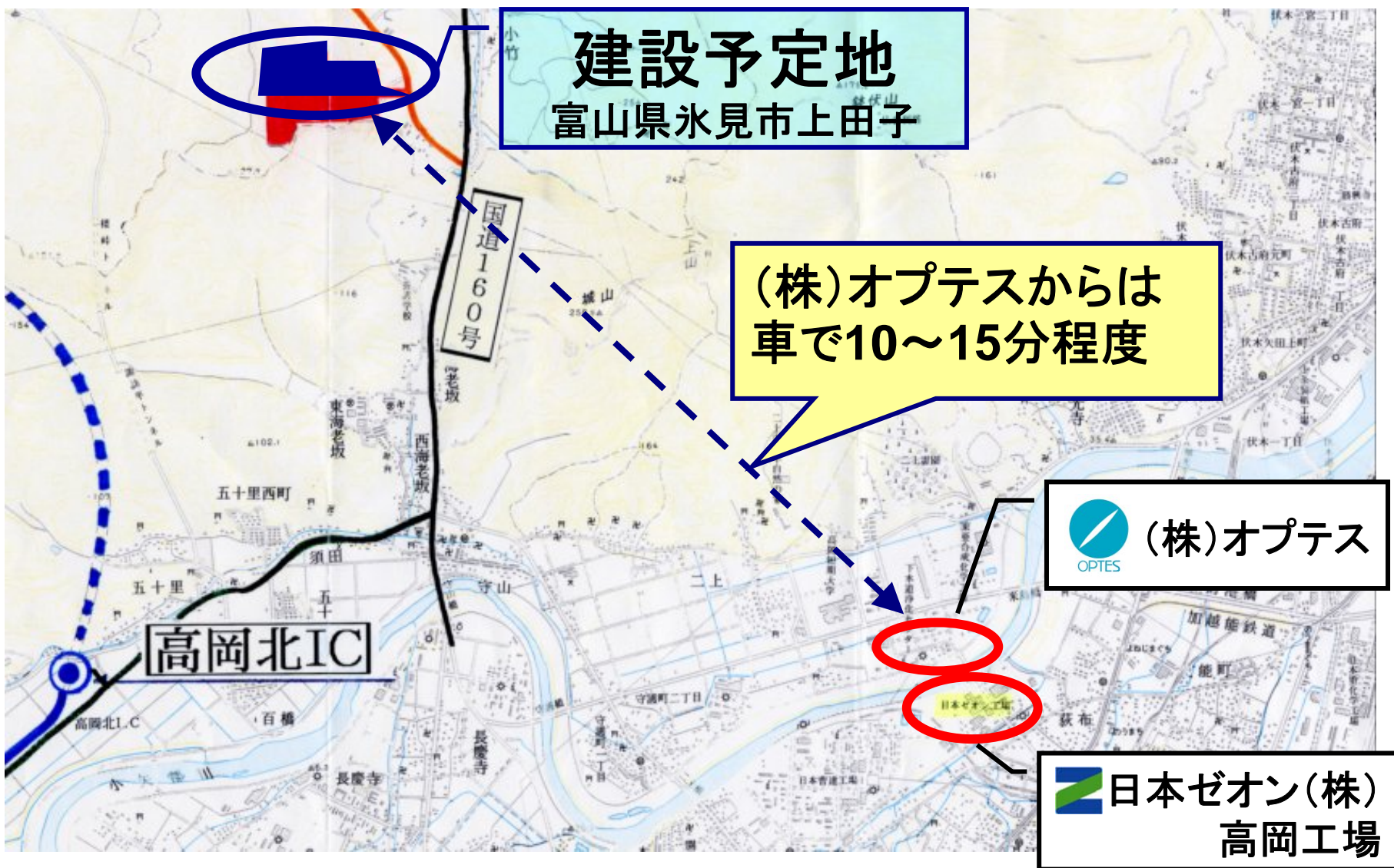
建設予定地 : 富山県氷見市上田子

敷地面積 : 約170,000m<sup>2</sup>

建物延床面積 : 約22,000m<sup>2</sup>

生産能力 : 約1,500万m<sup>2</sup>／年 (第一期)

総投資額 : 約100億円 (第一期)





## 新工場完成予想図

### 【新工場概要】

延床面積：約22,000m<sup>2</sup>

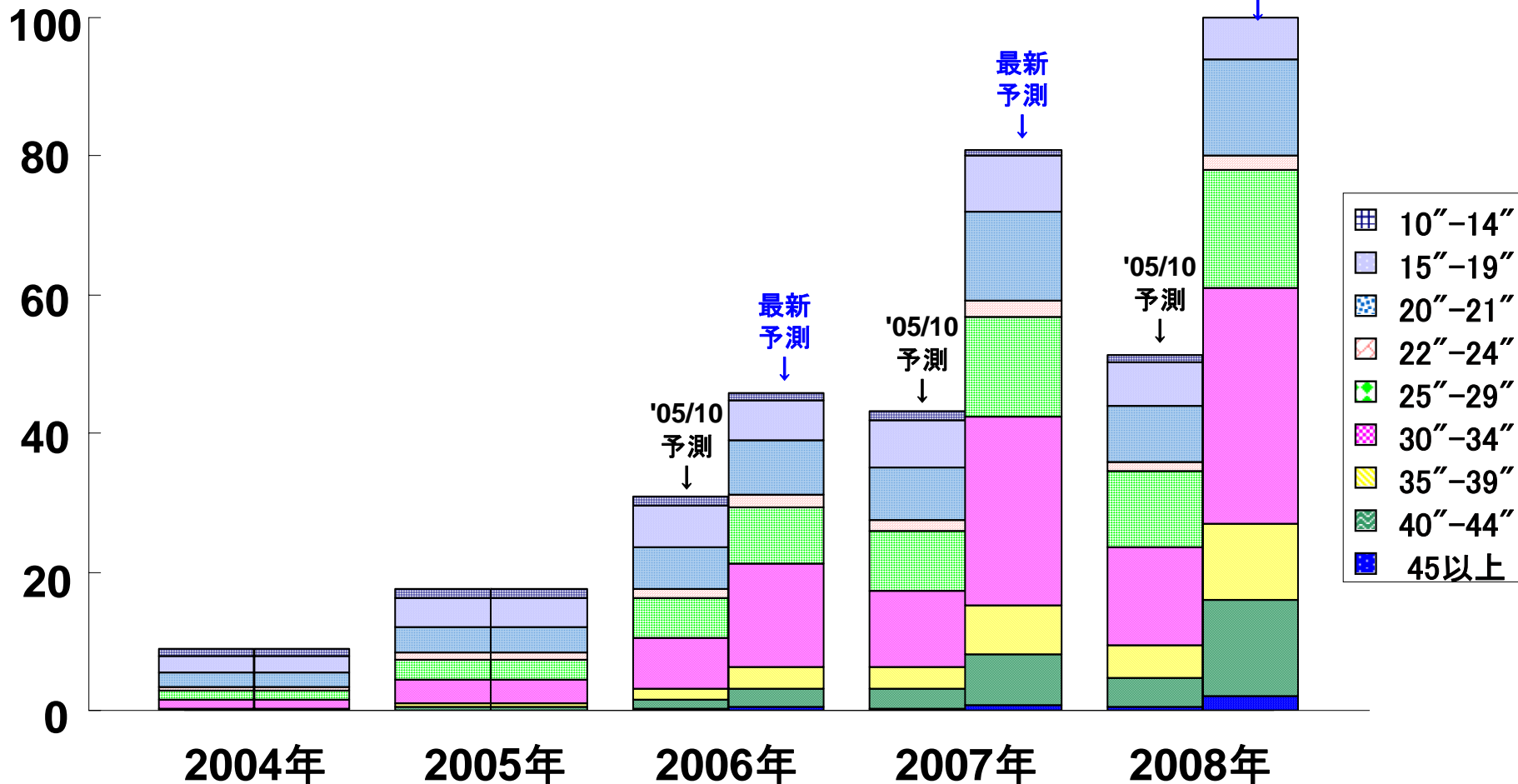
階層：鉄骨造3階建



2006年9月着工  
2007年9月竣工予定

## LCD-TVサイズ別需要予測(台数)

需要予測  
(百万台)



Display Search データを元に当社予測



精密光学研究所  
機械加工棟

必要部品、金型等  
の内製化

(株)オプテス  
高岡拡散板工場

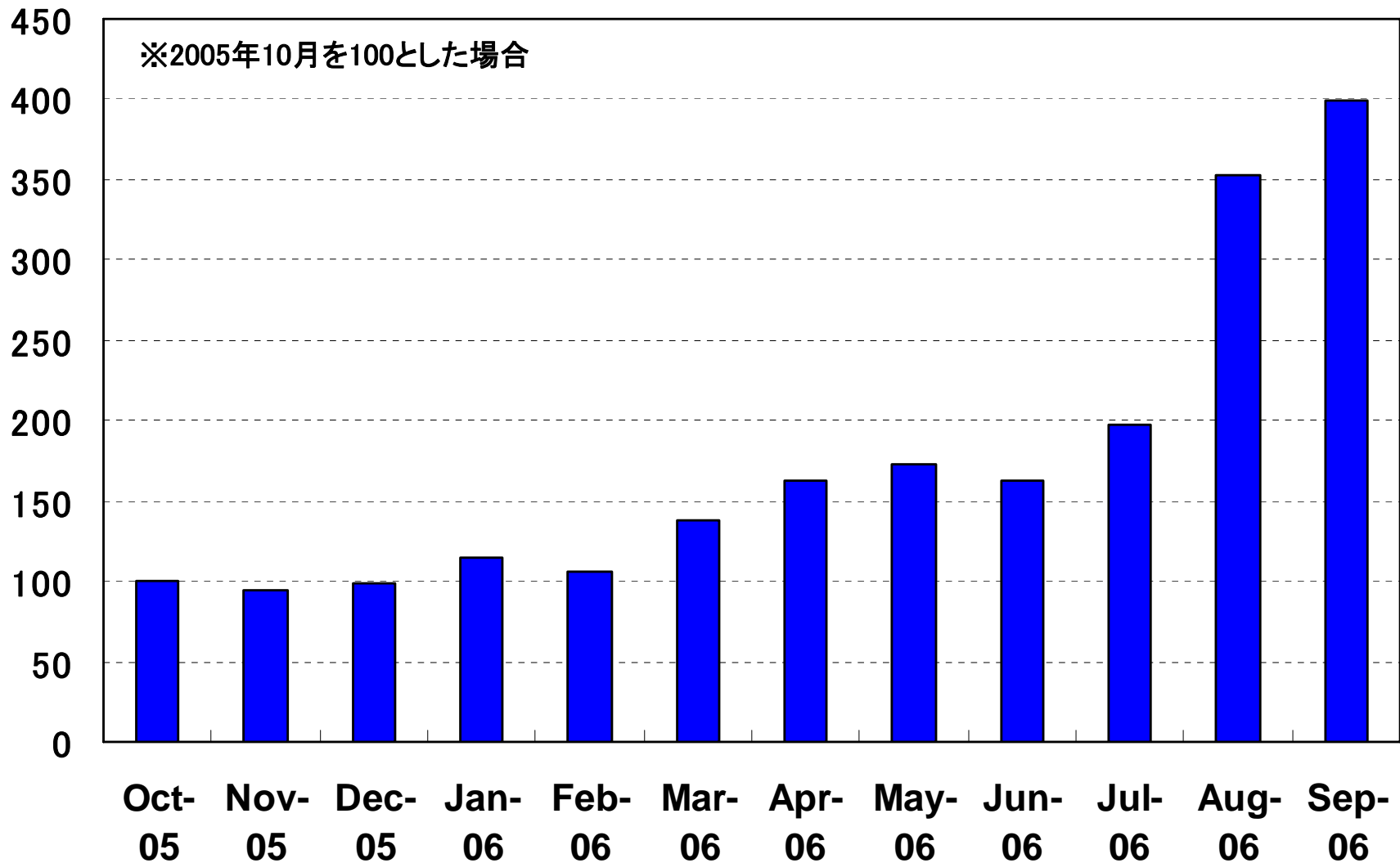


拡散板

パターン  
金型  
自社設計製造

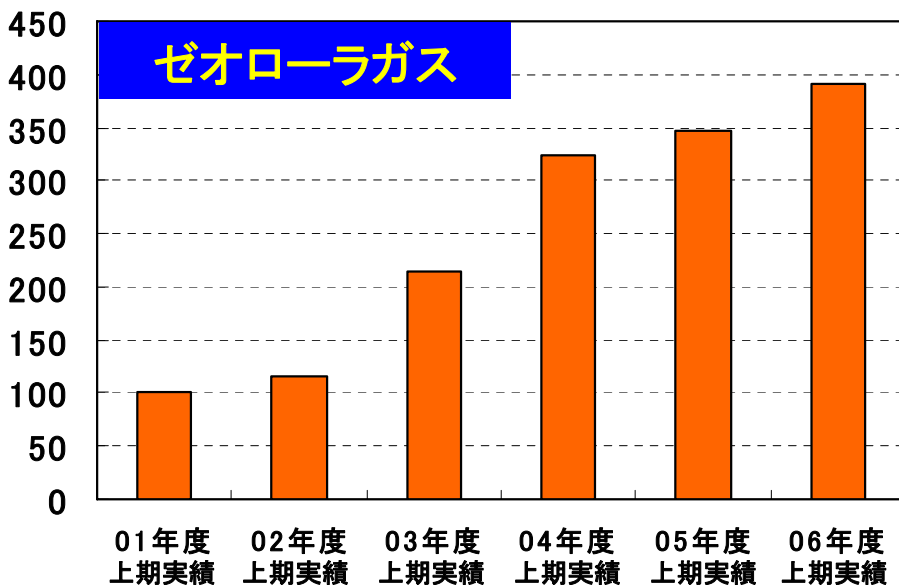
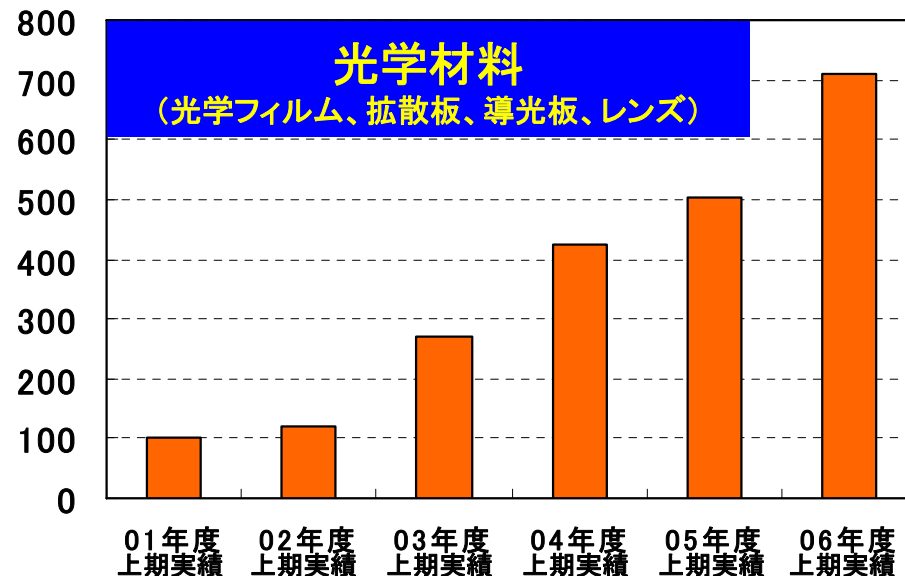
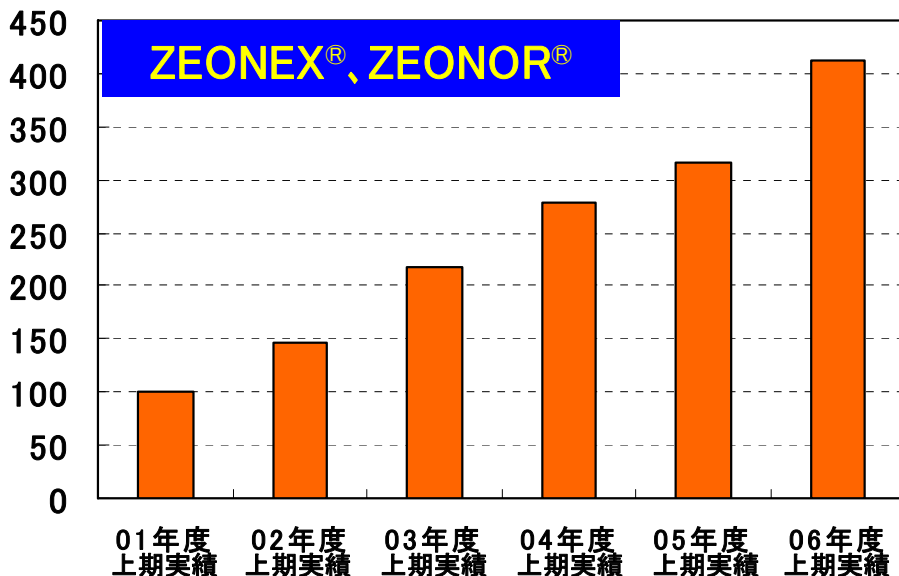


# 拡散板売上実績(05年10月-06年9月) *高機能材料*



# 戦略製品の売上高推移(上期比較)

高機能材料



※何れも2001年度上期を100とした場合

# その他の状況

# ◆ 研究開発戦略

1. 経営戦略と研究開発戦略の一体化
2. 研究開発速度のスピードアップと成功確率の向上
3. テクノロジープラットフォームの戦略的強化

## IEEE CPMT Young Award 受賞

(2006年4月29日～5月2日 ICEP2006)

発表論文:

『表面平滑低損失樹脂  
を用いた高速信号配線』

受賞者:

東北大学 森本明大、大見忠弘  
日本ゼオン 研究員4名



# 研究拠点の整備・拡充

## 総合開発センター 10号館



2006年5月26日竣工



インベスト神奈川認定事業

### 【10号館概要】

延床面積：約10,000m<sup>2</sup>

階層（高さ）：8階（44.6m）

**周辺地域で最高層**

# 研究拠点の整備・拡充

精密光学研究所  
(高岡)



精密光学研究所  
機械加工棟(高岡)



化学品研究棟  
(米沢)



総合開発センター  
10号館(川崎)



総合開発センター  
(川崎)



1. 生産革新による安定・安全生産の徹底追求
2. グループ力を結集したコストダウンの実践

## ● 現場力向上のために

『だろ、はずだは止めよう』

『金を出すから知恵を出せ』

『決めたことは守る、守れないものは変える』



社会から信頼され、社員もゼオンに働く誇りを感じる会社の実現

## 「Polymer Journal論文賞－日本ゼオン賞」設置

(2006年5月25日に第一回授賞式を開催)

(社)高分子学会には従来より、高分子若手研究者の研究奨励のために設けられているPolymer Journal論文賞がありましたが、平成17年度よりこの賞は日本ゼオンの名称が付され「Polymer Journal論文賞－日本ゼオン賞」として衣替えをいたしました。



## 高岡工場は創業50周年を迎えました





# 地域との共生

## 高岡工場創業50周年記念行事



創業50周年記念式典



創業50周年記念式典



創業50周年記念祝賀会



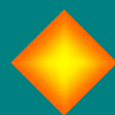
工場周辺の清掃活動



近隣住民の皆様への工場見学会



地域の皆様をお招きした夏祭り



スピード

対話

社会貢献

# ◆ 注意事項

本資料に掲載されている当社の計画、見通しなどは現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は様々な要因により、異なる結果となる場合があります。

日本ゼオン株式会社 広報室  
東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル  
Tel:03-3216-2747, Fax:03-3216-0501